

「新型も 参入したぞ 秋の空！」



復活の今季初勝利！ #110

2017GT 耐久東海シリーズは約4ヶ月のインターバルを置いて第3戦が、蒲郡のスパ西浦で開催。五月晴れの第2戦に負けなくらいの秋晴れとなった蒲郡地方、夏の名残を惜しむかのような Hot な一日。4ヶ月分のアツい思いを込めた、激走が今始まる。

「1+2C」クラス（1500cc以下のNA車と、1200cc以下の過給機付き車、1501cc～1850ccのNA後輪駆動車のクローズドクラス）

今回の1+2Cクラスは過去最大の13台が参加。新規参加、お久しぶりねなど賑やかな顔ぶれが揃う。スイフト、フィット、ヴィッツ、マーチのコンパクト勢、シビック、NA/NBのロードスターと今回も車種は豊富。

その中でも#67「クレイジー FORCE」チームが持ち込んだGK5フィットRS、いわゆる「フィット3」で、MC前ではあるものの現行モデル！オレンジのデミオも個性的だったが、一気にアップデートした感がある。「とりあえず既製のパーツを組んだだけ」とチーム代表、まだまだシェイクダウンとのことでしっかりと完走をしてデータを取りたい。ノーマルのエンジンもストレートでは結構速いとのこと。「いつかはオレンジにしたいな～」

優勝争いは#111「T-FACTORY フィット」と#110「アライメント浜松スイフト」が有力、ここまでは#111「T-FACTORY フィット」が2勝、#110「アライメント浜松スイフト」はともに2位と悔し涙を飲んでいる。3度めの対決となる今回はどうか。

2台のマーチにも注目、AK12 12SRというグレードはかのオーテックがチューニングしたメーカー純正チューンドカー。専用のCR12DEは専用カム・ピストンなどが入ったニッサン板タイプRともいべきモデル。3ドアの#40はレースカーに近く、5ドアの#870はストリートに近いようだ。

さらにテンハチのNBは初参加、どんな走りを見せるか。

今回EN(エンジョイ)クラスの参加はなく、全てが1+2Cクラス。#9も通常クラスだ。

■予選

予選トップは#111「T-FAC リキモリ剛式フィット」1'03.033、速さが戻って、クラストップに復帰。しかしその後ろには#110「アライメント浜松スイフト」1'03.145とびつたりマーク。やはり優勝争いはこの2台のバトルになるのか。

それに続くのは#18「てんぱちロードスター」1'05.297、ゼッケンを見ると排気量がわかるわけですね。ウォームアッププラクティスでは少しテールハッピーな挙動も見えていたが、最終計測 Lap でうまくまとめて予選3番手。

4番手#46「ボーイズヴィッツアンビシャス」1'06.002、今季初参加だが、参戦歴は長い実力はチーム、ピット3回のリッターヴィッツを駆る。

5番手#67「クレイジー FORCE VZX FIT」1'06.382、注目のフィット3はここ。06秒台は予想の範囲、ここから伸びしろを引き出していきたい。

6番手#40「MID・AXIS・YES マーチ」1'06.836、マーチの1台が6番手に、ストレートでは気持ちのよいサウンドを響かせていた。

7番手#70「ウエリースシビックGT」1'06.871、8番手#39「COCKPIT & CLN ヴィッツ」1'06.889、こちらもリッターヴィッツで1クラスマシン、ピットは3回。

9番手#11「アンリミDXL ヴィッツ」1'06.934、プログラム等ではシビックになっているが、マシンはNCPの1500ヴィッツ。

10番手#9「しんかい2500スイフト」1'07.328、もう1台の81スイスポ、色は白。第2戦はENクラスだったが、今回はノーマルクラスに。

11番手#870「MSCJ 東海マーチ」1'08.040、5ドアのマーチ12SR。12番手は#911「ブラウニプリントアーツヴィッツ」1'08.773、13番手#50「MSCJ 奈良ロードスター」1'09.179で全車予選通過だが、#11のアンリミヴィッツがピットスタート。



3連勝はならずも、ランキングはトップ #111



今季初表彰台リッターヴィッツ #39



表彰台には届かず4位 #70

Race Report

GT-CAR PRODUCE

■序盤

スタートからバチバチのバトルを見せるトップ 2 台、先頭の#111「T-FAC リキモリ剛式フィット」を#110「アライメント浜松スイフト」が追いかける。他クラス原因の SC ラン中でもあったため、その差はグッと詰まって 1 秒 3 !

3 位は#18「てんぱちロードスター」、ピットには入っていないようで行走を続ける。

4 位#46「ボーイズヴィッツアンビシャス」、5 位#39「COCKPIT & CLN ヴィッツ」、

6 位#40「MID・AXIS・YES マーチ」、7 位#67「クレイジー FORCE VZX FIT」。3 位

から 7 位までは第 2 集団となって 20 秒ほどのギャップ。

8 位#870「MSCJ 東海マーチ」、9 位 70「ウエリースシビック GT」、10 位#50

「MSCJ 奈良ロードスター」、11 位#911「ブラウニプリントアーツヴィッツ」、12 位

#9「しんかい 2500 スイフト」がその次となっている。

ただこのあたりはピットのタイミングなどもあり、先は読めない。

ピットスタートだった#11 の「アンリミ DXL ヴィッツ」はルーティンではないピットに

入っての作業中、DI(ダイレクトイグニッション)が熱でやられたとのことで、3 気筒

となってしまおうようだ。部品の脱着を試み、戦列復帰を目指す。

■中盤

やはりここでも#111「T-FAC リキモリ剛式フィット」と#110「アライメント浜松スイフト」のバトルは続く、1 時間走ってその差は 6.5 秒。レース中の最速タイムも#111 が 1' 03.360 に対し、#110 は 1' 03.206 とほぼ互角だ。

中段のバトルも激しい、その中でも第 2 グループの先頭は#40「MID・AXIS・YES マーチ」、一回ピットストップが少ない 4 位#46「ボーイズヴィッツアンビシャス」や新型の#67「クレイジー FORCE VZX FIT」あたりと 3 位争い。

以下は#39「COCKPIT & CLN ヴィッツ」、#870「MSCJ 東海マーチ」、9 位#70「ウエリースシビック GT」、#911「ブラウニプリントアーツヴィッツ」と続く。

#18「てんぱちロードスター」は序盤の SC ラン中のピットクローズ時のペナルティで 3 分のピットストップで 10 位に。さらに#50「MSCJ 奈良ロードスター」、#9「しんかい 2500 スイフト」となっている。

最下位の#11 の「アンリミ DXL ヴィッツ」は、ピットの出入りを繰り返しながら走行自体は続けている。

■終盤

激しい鏝迫り合いを続けてきたトップ 2 台だが、#111「T-FAC リキモリ剛式フィット」はフロントタイヤを交換、後半に備える。このピットストップの間に#110「アライメント浜松スイフト」が僅かに先行。

3 位争いも熾烈、1 クラスマシンの#39「COCKPIT & CLN ヴィッツ」がスルスルと上がってきて現在 3 位。それを#70「ウエリースシビック GT」が追いかける。5 位は序盤から上位走行の#40「MID・AXIS・YES マーチ」、表彰台まで届くか。

その後ろにはこちらも 1 クラスマシンの#46「ボーイズヴィッツアンビシャス」が続き、#18「てんぱちロードスター」の順。

第 3 集団も最後まで諦めないレース。#911「ブラウニプリントアーツヴィッツ」、#9「しんかい 2500 スイフト」、#50「MSCJ 奈良ロードスター」も規定周回数クリアできそうだが、どのチームも一つでも上を目指している。

#11 の「アンリミ DXL ヴィッツ」は少し完走は難しいか…

トップに立った#110「アライメント浜松スイフト」は最終ピットでこちらもタイヤ交換を敢行、同じくフロントのみ、これで最後まで行くようだ。

最終盤に OP クラスのマシンが立て続けにトラブル、SC が連続出動。トップは#110 のままだが、同一周回でバトル再開!



もう 1 台のリッターヴィッツは 5 位 #46



今回はマーチが 2 台 6 位 #40



もう 1 台は 7 位 #870



FR の醍醐味 8 位 #18

Race Report

GT-CAR PRODUCE

■最終結果

最後まで気が抜けなかったバトルも決着。#110「アライメント浜松スィフト」が9.124秒差で振り切って今季初優勝。#111「T-FAC リキモリ剛式フィット」は惜しくも届かず連勝は2で止まった。真夏のような気温に40キロのウエイトも影響があったか。

3位争いは#39「COCKPIT & CLN ヴィッツ」がしぶとく走ってポディウムへ。追いつけた#70「ウエリースシビックGT」は届かず4位。5位#46「ボーイズヴィッツアンビシャス」、6位#40「MID・AXIS・YES マーチ」、7位#870「MSCJ 東海マーチ」とAK12が続く。8位は#18「てんぱちロードスター」、8にちなんだわけではないが、ペナルティは痛かった。

9位#67「クレイジーFORCE VZX FIT」、途中接触などもあったようだが、シェイクダウンのマシンを完走ポイントまで持ってきた。10位#50「MSCJ 奈良ロードスター」でここまでが入賞。11位#9「しんかい 2500 スィフト」、#911「ブラウニプリントアーツヴィッツ」はポイントならずも完走。#911は最終盤でのSCのときにピットクローズドペナルティで4周減算となっておりこの順位。



ポテンシャルはかなりのもの #67



こっちは NA #50



#110 歓喜の勝利 それも総合チェッカー！！



完走だが惜しくもポイントならず #9



実力は互角 序盤からバチバチ！！



このピットの時か #911



先に動いたのは



最終スタントにかける



アツい〜



シビック 25t もないですが! ?



1+2C クラス





連勝でついにポイントリーダーに！ #106



自己最高位 2 位 #77



怒涛の追い上げはお見事！ #62



最後チョットやっちゃいましたけど 4 位 #405



優勝目前で・・・ #44

「3C」クラス (1501cc 以上のNA 車と、1201cc 以上の過給機付き車のクロズドクラス) + 「OP」クラス

5 月の第 2 戦では 3C の#106「D&M スパイクオート 106」が実に 7 年ぶりの勝利を飾るといふ劇的なレース。ポイントもグッと詰まって#62「WN☆ワコーズ☆CLNシビック」(3C)が 35P に対し#106 は 32P とわずか 3P 差に。

初参加#44「A.R.C.Civic」(OP)の EG6 を加えた全 5 台。今日はどこが勝つか！

■予選

予選トップは#62「WN☆ワコーズ☆CLNシビック」(3C)が 1' 02.440、唯一の 02 秒台を記録、やはり速さでは一線級を印象つける。

2 位は#405「インフィニティー FX」(OP)1' 03.627、キター！ 予選自己最高位で、全体のセカンドロー。”青春の 4A-G” (5バルブだけど)はやはり良いね。

3 位は#106「D&M スパイクオート 106」(3C)1' 03.899、持てるチカラを目一杯引き出しての優勝という第 2 戦は本当に感動。しかしそれも一旦忘れて、目の前のレースに集中。気になるのは 20 キロのウエイトか。

4 位初参加の#44「A.R.C.Civic」(OP)、EG もやはりカッコイイですね、1' 04.405。

5 位#77「ウエリース ロードスター GT」(OP)1' 04.959、タイム上がってきています、意外なダークホースになるかも。

以上全車予選通過だが、3 位#106「D&M スパイクオート 106」はグリッドに付く前にピットロードでメカが再チェック、一旦ピット屋根下に・・・大きな問題でないことを祈る。

■序盤

スタートから首位に立つ#62「WN☆ワコーズ☆CLNシビック」、一人旅で 2 位以下との差を広げる。13 周目には予選に匹敵する 1' 02.863 を叩き出し今季 2 勝目に向けて最高のスタートを切った。

そのはずだったが、好事魔多し。ターン 3 でグラベルに飛び出してしまう SC ランに。回収後は車両チェックの後、再スタートが可能と判断し戦線に復帰。しかし 6Lap ほどの遅れをとってしまう。

これで上位は一気に混戦、#44「A.R.C.Civic」、#405「インフィニティー FX」、#77「ウエリース ロードスター GT」がトップ 3 を形成。

ピットスタートの#106「D&M スパイクオート 106」と#62「WN☆ワコーズ☆CLNシビック」は第 2 集団からの巻き返しを誓う。

■中盤

中盤でも状況は変わらず相変わらずの混戦模様。#44「A.R.C.Civic」、#405「インフィニティー FX」、#77「ウエリース ロードスター GT」という OP クラス勢がトップグループ。しかし、#106「D&M スパイクオート 106」もじわじわと上がってくる。

折り返しの時点では上位陣のうち#44 と#405 が 73Lp、#77 が 72Lap、そして#106 が 71Lap と迫って来ている。

#62「WN☆ワコーズ☆CLNシビック」は再スタートのあと、1' 02.766 ! とさらにタイムを上げて猛然と追い上げを開始。全く諦めていない。



下山のゆるキャラ、五平くんのおかげかも

Race Report

GT CAR PRODUCE

■終盤

終盤でもトップをキープは#44「A.R.C.Civic」だが、#62「WN☆ワコーズ☆CLNシビック」がどんどん迫ってくる。途中タイヤ交換をするなど追撃の手を緩める気配はない。まだピットを残しているようだが、これはひょっとして何かが起こるか？実質的な2位争いは#77「ウエリース ロードスター GT」と#405「インフィニティ FX」、#106「D&M スパイクオート 106」か。まだまだ予断を許さない。

とここで立体交差下で大きな白煙があがる！なんとトップを走っていた#44「A.R.C.Civic」のマシンにトラブル、リタイヤとなってしまった。すぐさまSCランに。ここでトップに立っているのは#106「D&M スパイクオート 106」、ピットスタートのあとは大きなトラブルなく、快調に周回を刻んできたのがここへ来て効いてきた。2位は戦前に予想したダークホース#77「ウエリース ロードスターGT」、プジョーが勝てば連勝、ロードスターなら嬉しい嬉しい初優勝だが、奇跡の大逆転にかける#62CLN シビックが怒涛の追い上げで詰め寄ってくる。#405「インフィニティ FX」もポジションを守ろうと必死だ。

さらにドラマが待ち受ける、#405FX がターン1 突っ込みでコースアウト。SCランとなりイエロー、グリーンが振られたのはチェッカー3分ほど前…

■最終結果

結局最後に上にいたのは#106「D&M スパイクオート 106」！嬉しい連勝！2位は#77「ウエリース ロードスター GT」、3位は#62「WN☆ワコーズ☆CLNシビック」という表彰台。コースアウトした#405「インフィニティ FX」も最後にコースインしチェッカーを受け4位に。

■総評

ピットスタートから「本人たちが信じられない」という優勝を飾った#106「D&M スパイクオート 106」。は20Pを加え52Pに、#62「WN☆ワコーズ☆CLNシビック」は3位で12Pを加え47Pとなったためタイトル争いの先頭に106が立った。GT 耐久東海シリーズの歴史上初めてインポートカーのチャンピオンが誕生するか、最終戦を刮目して待て！！

#77「ウエリース ロードスターGT」の初勝利は今回はお預け、こちらも最終戦に期待したい。秋晴れのもと素晴らしいレースだった。



一旦は万事休すかと…



最後まで諦めないぞタイヤ交換で後半へ



こちらも最初はピットスタートで心配したが



連勝で少し緊張してますか！？



3C&OP クラス